

保冷精米機

Cool Ace  mill

PHK-110 PHK-120 PHK-130



取扱説明書

お買い上げまことにありがとうございます。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後はお使いになる方がいつでも見られる所に
大切に保管してください。

もくじ

安全のために必ずお守りください……………	1～4	お手入れのしかた……………	18～21
各部のなまえとはたらき……………	5～6	こんなときは……………	21
設置について……………	7	修理を依頼される前に……………	22～24
ご使用の前に必ずお読みください……………	8～11	仕様……………	25
ご使用方法		外形寸法……………	25
＜保冷について＞……………	12	アフターサービスについて……………	26
＜精米について＞……………	13～16	廃棄について……………	26
＜玄米の補給について＞……………	17	保証書……………	裏表紙

安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための重要事項を警告・注意に分けて示します。必ずお守りください。

 **警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

 **注意** 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

お守りいただく内容を次の絵表示で区別し説明しています。

-  してはいけないこと（禁止）を示します。
-  必ずすること（強制）を示します。

警告

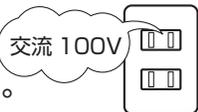
電源プラグや電源コードの取り扱いについて

感電・火災・けが・故障の原因になります。



必ず実施

- 交流100Vのコンセントを使う。
交流200Vの電源を使うと火災の原因になります。



- 電源プラグにほこりが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込む。（電源コードを下向きにする）



1カ月に1度電源プラグを抜き、刃部のほこりを取り除いてください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない。

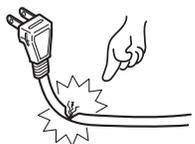


禁止

- 電源はタコ足配線にしない。



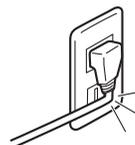
- 電源コードや電源プラグは傷んだまま使わない。



- 電源コードを持って電源プラグを抜かない。（必ず電源プラグを持つ）



- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、強く束ねたり、ひっぱったり、重いものをのせたり、加工したり、足にひっかかるような状態にしない。



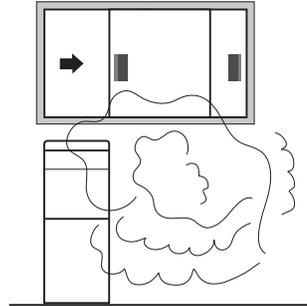
警告

事故を避けるために
感電・引火・爆発・火災・けがの原因になります。



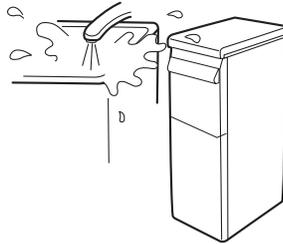
必ず実施

- 都市ガスなどのガスがもれたときは、製品に触れずに窓を開けて換気する。



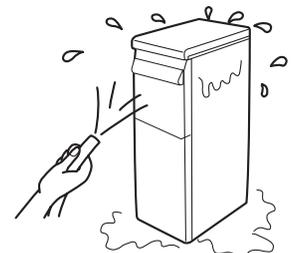
水場使用
禁止

- 水のかかる場所や、湿気の多い場所に設置しない。



水ぬれ禁止

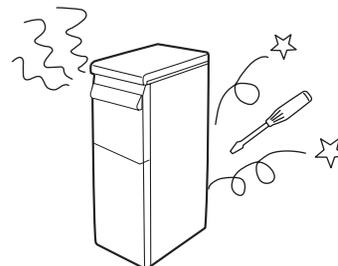
- 水をかけたり、水を入れた容器をフタの上に置かない。



分解禁止

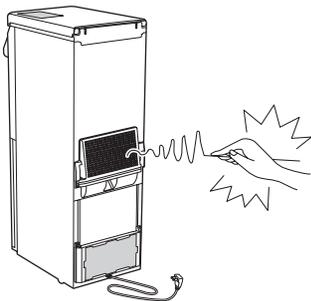
- お客様ご自身で分解したり修理・改造は絶対にしない。

※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

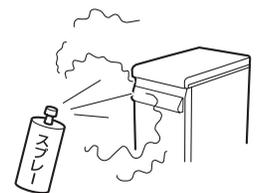


禁止

- 吸気口・排熱口に針金・ピンなどの異物を入れない。



- 使用中に可燃性スプレーやシンナーなどの可燃物を製品の近くで使わない。



- 製品の上ののったり、寄りかからない。
- 子供だけで使わない。
転落や製品転倒などによるけがの原因になります。
特にお子様にはご注意ください。



安全のために必ずお守りください

⚠ 注意



必ず実施

- 玄米を入れるときは、必ずフタを取りはずす。

フタを開けたまま玄米を入れると、不用意にフタが閉じたり、はずれて落下してけがの原因になることがあります。



- 玄米の中に石・わらくず・粃ガラなどの異物が入っているときは取り除く。故障の原因になることがあります。また、玄米を正確に計量することができなくなります。



禁止

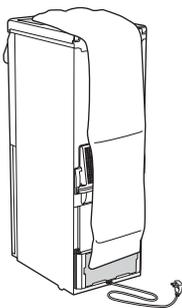
- 直射日光が当たる場所や換気が悪く室温が上がりやすい場所、冷蔵庫などの近くで温かい空気がたまりやすい場所に設置しない。

- 30℃を超える場所に設置しない。周囲温度が高いと庫内が冷えなくなり、害虫発生の原因になることがあります。

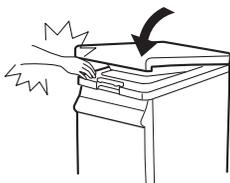
- ガスレンジなどの火気の近くに設置しない。性能が低下したり、変形・変色の原因になることがあります。

- 落下や強い衝撃を与えない。故障の原因になることがあります。

- 製品背面にある吸気口・排熱口をふさがない。故障の原因になることがあります。



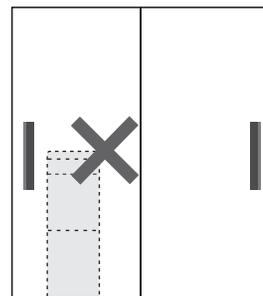
- フタを閉めるとき、製品のフチに手を置かない。手をはさみ、けがの原因になることがあります。



- テレビやラジオ・防災無線の近くに設置しない。

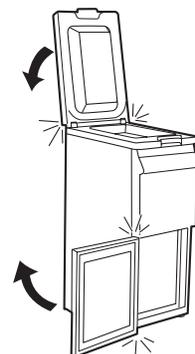
- テレビやラジオなどと同じコンセントを使わない。映像の乱れや雑音が入ることがありますので、設置時に確認してください。

- 収納庫やシンク下などの密閉される場所に設置しない。排熱により熱がこもり、庫内が冷えなくなります。



- 不安定な場所、高い所へ設置しない。転倒や落下によるけが・破損の原因になることがあります。

- フタ・扉に無理な力をかけない。けが・破損の原因になることがあります。開閉は静かにおこなってください。



注意



禁止

- フタ、扉を持って持ち上げたり、フタを開けたまま持ち上げない。
手をはさむなど、けがや故障の原因になることがあります。
- 移動させるときは、振動を与えたり、大きく傾けたりしない。
冷却運転により発生した水が、製品内部の水受けからこぼれて、故障や床をぬらす原因になることがあります。
- 使用中は本体を移動させない。
- 精米中は扉を開けない。
- フタの上に熱いもの（70℃以上）や重いものをのせない。
変形や変色の原因になることがあります。
- フタを丸洗いしない。
フタ内部に入り込んだ水が庫内をぬらす原因になることがあります。
- 計量部はぬれたままセットしない。
取りはずした部品を水洗いしたあとは、完全に乾かしてから取りつけてください。



電源プラグを抜く

- お手入れするときは、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグを抜く。
絶縁劣化による感電・火災の原因になることがあります。
- 異常時は直ちに電源プラグを抜く。
異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき

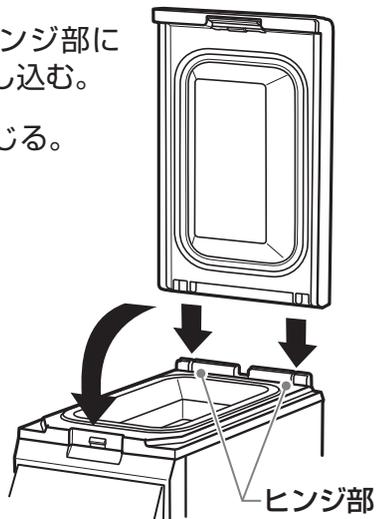
フタ

取りはずすことができます。

取り付け方法

※取りはずして梱包してあります。

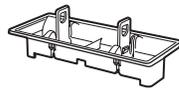
1. 左右のヒンジ部に確実に差し込む。
2. フタを閉じる。



フタパッキン

定格ラベル

製品の定格・仕様・使用上のご注意などが記載されています。



アタッチメント

(米びつ内部底面に装着してあります。)

玄米投入口

取っ手

製品を移動するときに両手でしっかり持ちます。

残量確認窓

窓から玄米が見えなくなったら、残量は約 2kg です。

米びつ部

警告ラベル

重要事項が記載されています。

扉パッキン

扉取っ手

扉をロックし密閉します。

扉裏銘板

計量のしかたなどが記載されています。

排熱口

冷却運転で発生した温かい空気を内部に組み込まれているファンで排気します。

冷却装置

内部に組み込まれています。

吸気口/フィルター

掃除の方法については P.18 をご覧ください。

電源プラグ

電源コード

キャスター (後側のみ)

吸気口や排熱口の掃除のとき、製品の移動に使います。

扉

米ロート注意ラベル

計量説明ラベル

計量の注意事項が記載されています。

フタ取っ手

フタをロックし密閉します。

玄米レベル注意ラベル

玄米を入れるとき、上限レベルの制限を示します。

精米ランプと米の量ランプについて

- 操作から10分後に省エネのため消灯します。精米ランプと米の量ランプが消えているときは「精米スイッチ」「米の量スイッチ」「スタート/停止スイッチ」のいずれかを押し、消灯する前に設定した精米ランプと米の量ランプが点灯します。

操作部

電源ランプ

電源



精米スイッチ/ランプ表示部

- 精米コースを選ぶときに押します。
- 押すごとに緑ランプが順番に点灯します。
〔米とぎ→白米→7分づき→5分づき→3分づき(胚芽)→米とぎ・・・〕



玄米から
精米

スタート
停止

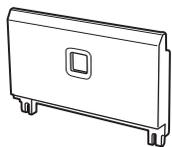
米の量スイッチ/ランプ表示部

- 玄米の量を選ぶときに押します。
- 押すごとに緑ランプが順番に点灯します。
〔1合→2合→3合→4合→5合→1合・・・〕

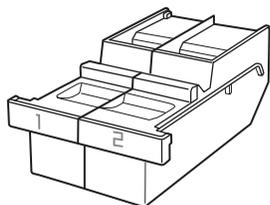
スタート/停止スイッチ

- 運転をスタートまたは途中で止めたいときに押します。

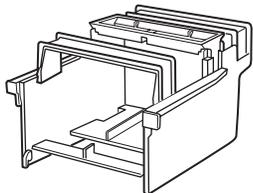
計量部



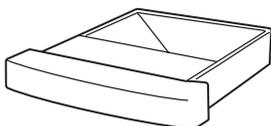
前カバー



計量引き出し
玄米を計量するとき引き出します。



計量フレーム



米ロート

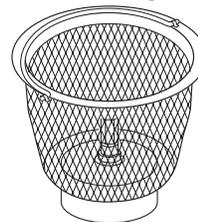
精米部



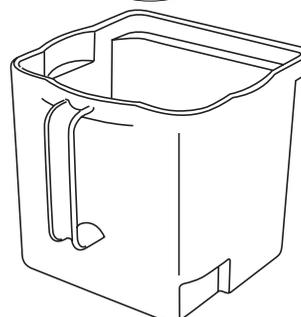
精米フタ



精米はね
お米をかくはん・対流させます。



精米バスケット
お米が入ります。



ぬか容器
精米して出たぬかを受けます。

設置について

製品を設置するときは、下記事項を必ずお守りください。

下記の場所には設置しないでください

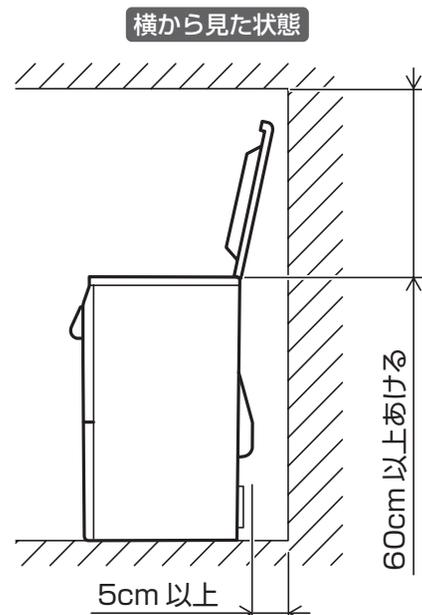
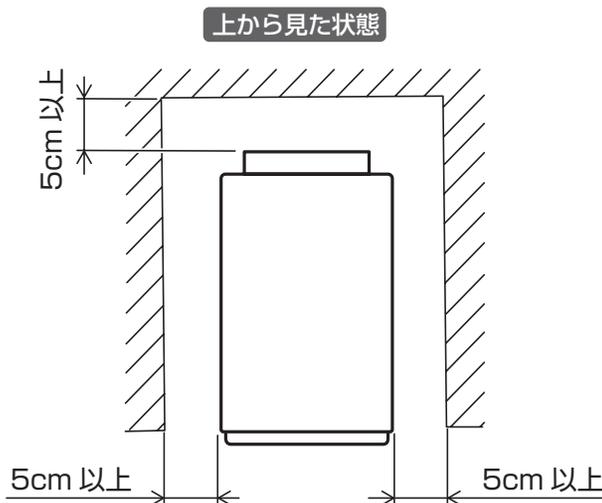


禁止

- 収納庫やシンク下などの密閉される場所。
排熱により熱がこもり、庫内が冷えなくなります。
- 直射日光が当たる場所や換気が悪く室温が上がりやすい場所、冷蔵庫などの近くで温かい空気がたまりやすい場所。
- 30℃を超える場所。
周囲温度が高いと庫内が冷えなくなり、害虫が発生する原因になることがあります。
- 不安定な場所、高い所。
転倒や落下によるけが・破損の原因になることがあります。
- 水のかかるシンク近く。
湿気による結露やサビの原因になることがあります。
- テレビやラジオ・防災無線の近く。
- テレビやラジオなどと同じコンセントを使う場所。
映像の乱れや雑音が入ることがありますので、設置時に確認してください。
- ガスレンジなどの火気の近く。
性能が低下したり、変形・変色の原因になることがあります。

- 背面・側面・上部にスキマをあける。

製品の背面に吸気口と排熱口がありますので、壁から少し離してスキマをあけてください。スキマが少ないと冷却性能が低下します。



- ほこりの少ない場所に設置する。

吸気口や排熱口にほこりがたまると、庫内が冷えなくなり電源ランプがゆっくり点滅します。電源ランプが点滅したら早めにフィルターを掃除してください。詳しくはP.18 **吸気口のフィルター・排熱口の掃除** をご覧ください。

ご使用の前に必ずお読みください

<保冷について>

- お米の鮮度やおいしさを保つために、この取扱説明書にしたがって正しく使用し、適切な管理を心がけてください。

玄米を貯蔵するときのご注意

- 決められた収納量を超えて玄米を入れない。
玄米は投入口の下縁より上に入れないでください。
入れすぎるとフタが閉らなくなります。

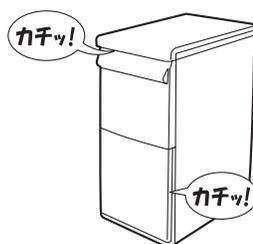
型式	玄米の収納量
PHK-110	10kg
PHK-120	20kg
PHK-130	30kg

- 湿った玄米や乾燥不足の玄米を入れない。
- 玄米は水分を15.5%以下に乾燥させてから貯蔵する。
水分が高いと、玄米にカビが発生したり固まったりして、玄米の品質の低下や計量不良の原因になります。

- 温かい玄米を入れない。
粳すり直後や日光にあたって温かくなった玄米を入れると、米びつ内部が結露することがあります。必ず室温になじませてから入れてください。
夏場など高温多湿のときは、室温ができるだけ涼しいときに、玄米を補給してください。

- フタと扉は「カチッ」とロックさせて、確実に閉める。

庫内が冷えなくなるだけでなく、製品内部が結露したり、冷却により発生した水が床にあふれ出る原因になります。



- フタ・扉の開閉は少なく、短くする。
玄米は湿気をさらいます。特に梅雨の時期や夏場は、米びつ内部へ湿気が流れ込みますので、開閉はできるだけ少なく、開けている時間は短くしてください。

結露について

- 湿度が高いとき(特に梅雨の時期や夏場)には、フタや扉を開けたときに内側に露がつくことがあります。これは湿気を多く含んだ温かい空気が、フタや扉の内側などで急に冷やされて露となって付着する「結露」という自然現象であり故障ではありません。
露の量が多いときは、乾いたタオルなどで拭き取ってください。結露による玄米のカビ発生や性能低下の原因になります。またフタや扉を開けている時間はできるだけ短くしてください。

害虫の発生について

- 玄米には害虫の幼虫や卵が付着していることがあります。玄米の保冷保管は、これらの害虫の発生を抑える効果がありますが、殺虫能力はありません。
高温が続く夏場は、フ化や羽化して害虫となって発生してくることがあります。

冷却運転により発生する水について

- この製品は冷却運転により発生する水を、製品内部の水受けのために、蒸発させていますが、フタや扉が開いていると水受けにたまる水量が増え、床にあふれ出る原因になりますので、フタや扉をしっかりと閉めてください。

ご使用の前に必ずお読みください

庫内の冷却について

- この製品は、庫内の温度を15℃前後に保つように運転しています（周囲温度30℃のとき）。
- 周囲温度が下がってくると、冷却能力を下げても運転を続けますが、さらに温度が下がって、冷却の必要がなくなると運転を停止し、庫外の温度と同程度で貯蔵します。
- 周囲の温度が30℃のとき、玄米を決められた収納量まで入れると、庫内が約15℃になるまで約3日かかります。

冷却運転中のブザー音について

- 冷却運転中、扉の閉め忘れ防止のため開けてから3分後にピーピーとブザー音がなり、その後は1分おきになります。扉を閉めるとブザー音は止まります。

臭いについて

- この製品は断熱材として発泡スチロールを使用しており、まれに特有の臭いがすることがありますが、衛生上の心配はありません。臭いが気になるときは、フタを開けて換気をおこなうと臭いが薄れます。

電源ランプについて

- 電源プラグをコンセントに差し込むと電源ランプ(青色)が点灯します。
- 周囲の温度が低く、冷却運転が停止しているときも、電源ランプは点灯しています。



電源ランプがゆっくりと点滅したとき

- 吸気口のフィルター目詰まりなどで、庫内が冷えなくなると電源ランプがゆっくりと点滅します。（2秒間に1回程度の点滅）
- 電源ランプが点滅したときは、以下の確認をして処置してください。処置後庫内が冷えはじめると電源ランプは点灯にもどります。

点滅の原因	処置していただくこと
吸気口のフィルターや排熱口の目詰まり	吸気口のフィルターと排熱口を掃除してください。 詳しくはP.18の 吸気口のフィルター・排熱口の掃除 をご覧ください。
扉・フタの半開き	扉・フタはきちんと閉めてロックしてください。
温かい玄米を投入したとき	粳すり直後などの温かい玄米を入れると、数日後に電源ランプが点滅する場合があります。
周囲の温度が高いとき	設置場所の確認をおこなう。 詳しくはP.7の 設置について をご覧ください。

きちんと処置しても電源ランプが点滅する場合は、冷却装置の故障が考えられます。すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

電源ランプがはやく点滅したとき

- 電源ランプが1秒間に3回程度のはやい点滅をしたときは、冷却装置やセンサーの故障が考えられます。すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

<計量について>

最大量について

最大容量 5 (合) 玄米：約 825g

続けて計量するときは最大量を超えないようにしてください。

- 計量する前に精米バスケットの中が空になっているか確認してください。残っていると最大容量を超える原因になります。

計量引き出しと吐出量の関係

計量引き出しの表示		吐出量	白米コースで精米したとき
米の量	1	0.2L (玄米：約 165g)	白米：約 150g・約 1合
	1・2	0.4L (玄米：約 330g)	白米：約 300g・約 2合

米ロートについて

- 計量するときは、**米ロート**を必ず取り付けてください。つけ忘れるとお米が大量に散らばる原因になります。米ロートの取りつけ方は P.13 をご覧ください。

<精米について>

- 玄米以外は精米しない。**そばの実** **外国米** **もみ** **麦** 故障の原因になります。

●精米の連続使用は10分まで。

モーターの過熱を防ぐため、運転を停止させる保護装置がついています。保護機能が働いたときは電源プラグを抜かないで、1時間以上休ませてください。

精米するときのご注意

- 玄米の中に石・わらくず・粳ガラなどの異物が入っているときは取り除く。故障の原因になります。また、玄米を正確に計量することができなくなります。

- 精米フタ・精米はね・精米バスケット・ぬか容器・米ロートはていねいに扱い、熱いお湯や食器洗い機で洗わない。変形・変色・故障の原因になります。

- 精米が終了したら、できるだけはやくお米を取り出す。

- 精米バスケットの中でお米を洗わない。変形して精米ができなくなることがあります。

- 精米バスケットの中にお米を入れたまま放置しない。お米を放置しますと、虫が発生する原因になります。

- 運転の途中で止めない。再スタートしても継続運転できません。運転の途中で止めたいときはP.16追加精米するときをご覧ください。止まってしまったときはP.23をご覧ください。

- 精米後は必ずそのつどぬかを取り出し、ぬか容器をきれいにする。ぬかを放置しますと、虫の発生・精米不足・米とぎ不足の原因になります。

- 決められた最大量を超えて運転しない。精米不足・米とぎ不足や故障の原因になります。

ご使用の前に必ずお読みください

コース選択について

コース名	工程	
白米	 玄米 →  白米	・ 精米したての白米が一番という方に。
7分づき	 玄米 →  7分づき	・ 白米に比べ栄養価が残りながらも食べやすいお米です。分づき米初心者に。
5分づき	 玄米 →  5分づき	・ 栄養も充分で食べやすく美味しいお米です。
3分づき(胚芽)	 玄米 →  3分づき(胚芽)	・ 胚芽を多く残すように精米します。 胚芽には多くの栄養が含まれています。
米とぎ	 玄米 →  白米 →  米とぎ	・ 玄米→白米→米とぎまで全自動でおこなうコースです。

3分づき(胚芽)コースについて

お米の品種・産地・水分量・保存状態の違いにより胚芽の残る量は異なります。
(市販の胚芽米とは状態が異なります)

米とぎコースについて

玄米から白米まで精米後、白米の表面についている細かいぬかや酸化した部分を削って、洗米と同じ効果を出します。

お米の違いによる精米具合について

お米の品種・産地・水分量・保存状態の違いにより精米の仕上がりが異なります。
お使いになる玄米に合わせて調整してください。

玄米の状態	仕上がり	調整方法
<ul style="list-style-type: none"> 水分量が多い やわらかい 	精米不足になりやすい	追加精米してください。 P.16 をご覧ください。
<ul style="list-style-type: none"> 水分量が少ない かたい 古米 もち米 	精米すぎになりやすくお米が割れやすい	精米するお米の量より 1 合少ない量を「米の量スイッチ」で選び精米する。

<炊飯について>

○ コースによって削るぬかの量が異なるので、精米後のお米の量は変わります。

玄米を白米コースで精米すると玄米の重さに対して約10%がぬかとして削られますが、例えば5分づきコースのときはこの割合が約5%となりますので、精米後のお米の量は変わってきます。

○ 必ず炊飯器に付属の計量カップなどで計り直してから炊飯してください。

計り直さないで炊飯すると、ごはんがやわらかかったり、かたかったりする原因になります。

またお使いになる炊飯器の取扱説明書もよくお読みください。

<180mlの計量カップ>



ご使用方法 <保冷について>

ご使用の手順

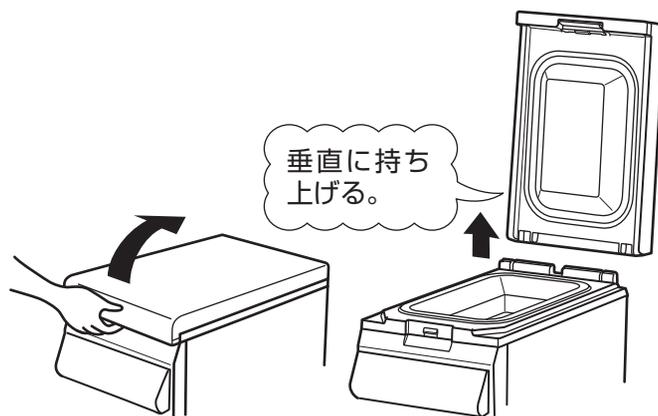
①フタを取りはずします。

フタは開いた状態で垂直に開けて持ち上げると、取りはずすことができます。

お願い

◦玄米を入れるときは、必ずフタを取りはずしてください。

フタを開けたまま玄米を入れると、不用意にフタが閉じたり、はずれて落下してけがの原因になることがあります。



②米びつ内部を乾いた布で拭きます。

お手入れのしかたはP.19をご覧ください。

③玄米を入れます。

お願い

◦玄米投入口の下縁より上に玄米を入れないでください。

フタが確実に閉らなくなり、米びつ内部の結露による玄米のカビ発生や性能低下の原因になります。



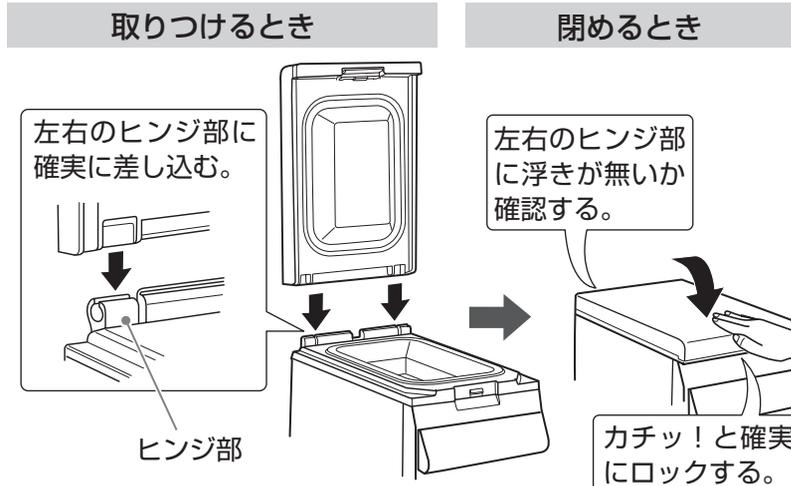
④フタを閉めます。

フタは確実にロックし、密閉してください。

お願い

◦玄米投入口のまわりや、フタパッキンについた玄米はきれいに取り除いてからフタを閉めてください。

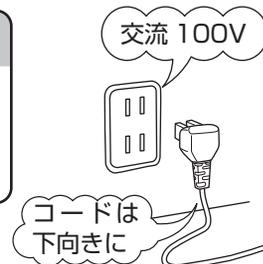
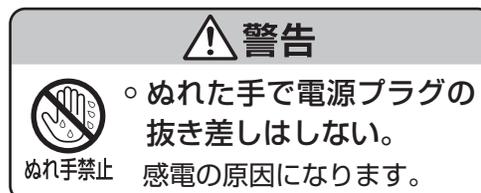
玄米がついたままフタを閉めると密閉されず、米びつ内部の結露による玄米のカビ発生や性能低下の原因になります。



⑤電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源ランプが点灯し運転が始まります。
(運転スイッチはありません)
冷却運転中は排熱用のファンが回ります。

周囲の温度が低いときは、冷却運転を停止しますが、電源ランプは点灯しています。



運転を止めるとき

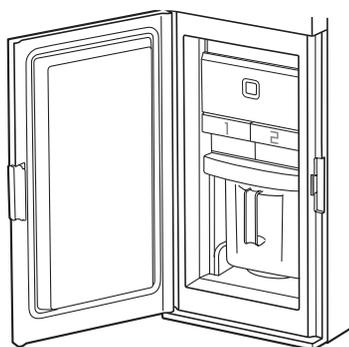
◦運転を止めたいときや長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜きます。

ご使用方法 <精米について>

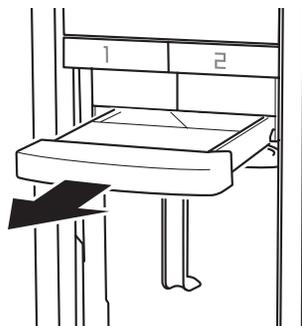
米ロート・ぬか容器・精米はね・精米バスケット・精米フタの取り出し方、取りつけ方

米ロート・ぬか容器の取り出し方

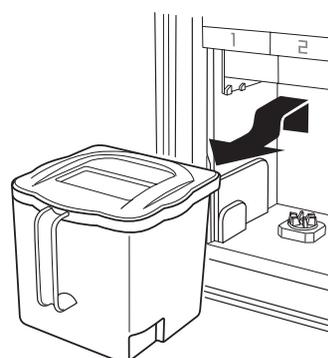
1 扉を開けます。



2 米ロートを取り出します。

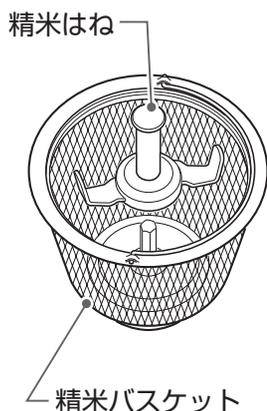


3 ぬか容器の取っ手を持ち、少し上に持ち上げて、引き出します。

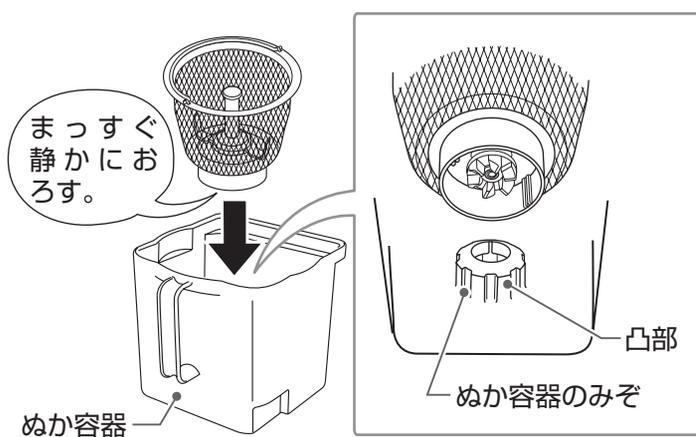


精米はね・精米バスケット・精米フタの取りつけ方

1 精米はねを精米バスケットに取りつけます。

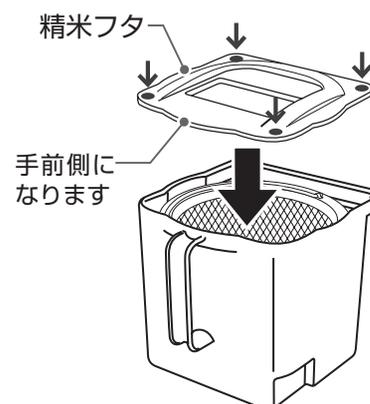


2 精米バスケットをぬか容器に取りつけます。ぬか容器のみぞに精米バスケットの凸部がはまるように押し込みます。



3 精米フタの四方のかどを「パチッ」と確実にはめ込みます。

※精米フタが浮いているとお米がこぼれます。

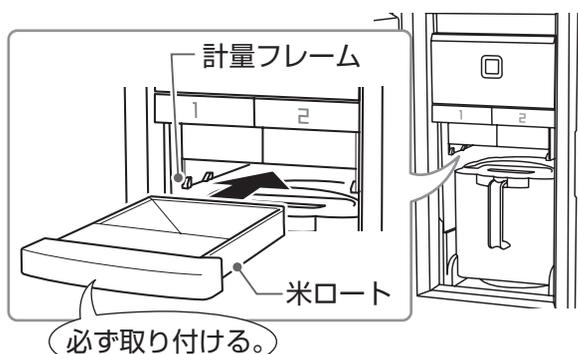


ぬか容器・米ロートの取りつけ方

1 ぬか容器の取っ手を持ち、少し上に持ち上げて、取りつけます。



2 米ロートを一番奥まで押し込みます。



※米ロートが奥まで入っていないと玄米がこぼれ、安全センサーが検知し精米がスタート出来ません。

■ ぬか容器が確実に取り付けられていないと、精米フタが少しはずれます。精米フタがはずれているときは、ぬか容器を取り出して、精米フタを「パチッ」と確実にはめ込んでから取り付けなおしてください。

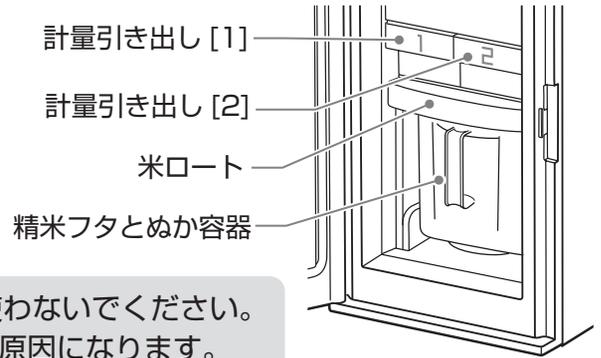
お米の計量

計量する前に確認！

計量引き出し [1][2]・米ロート・精米フタとぬか容器がしっかり入っていますか？

ご注意

- 精米はね・精米バスケットはぬれた状態では使わないでください。ぬか切れが悪くなり、精米不足や米とぎ不足の原因になります。



1 計量します

計量引き出しの表示		吐出量	白米コースで精米したとき
米の量	1	0.2L(玄米：約 165g)	白米：約 150g・約 1 合
	1・2	0.4L(玄米：約 330g)	白米：約 300g・約 2 合

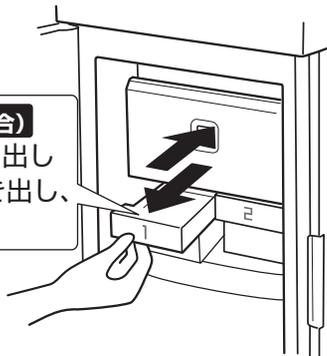
※他のコースで精米したときは白米と比べて量が増減します。

[米の量1(合)] を計量するとき 玄米：約 165g

計量引き出し [1] を 1 回引き出して戻します。

米の量1(合)

は計量引き出し [1] を引き出し、戻す。



[米の量2(合)] を計量するとき 玄米：約 330g

計量引き出し [1] と [2] を一緒に 1 回引き出して [1] と [2] を一緒に戻します。

米の量2(合)

は計量引き出し [1] と [2] を引き出し、[1] と [2] を一緒に戻す。



※計量引き出し [2] を引き出すと計量引き出し [1] が一緒に引き出されます。

※必ず [1] と [2] 両方を押し戻してください。計量引き出し [2] を押し戻しても [1] は戻りません。

最大容量 5(合) 玄米：約 825g

- 続けて計量するときには最大量を超えないようにしてください。最大量を超えて計量すると、玄米がつまって米ロートやぬか容器が取り出せなくなることがあります。

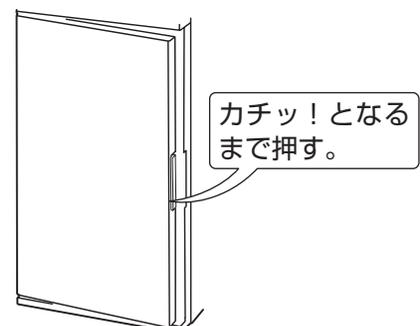
ご注意

- 計量引き出しの操作がはやすぎると、正しく計量されないことがあります。
- 計量は、玄米を入れたときと、なくなるときの数回は表示されている量と異なることがあります。

2 計量後は扉を確実にロックする

お願い

- 扉は「カチッ」となるまで押ししてください。



ご使用方法 <精米について>

精米のしかた

精米・米とぎ時間のめやす（約）					
コース 米の量	白米	7分づき	5分づき	3分づき (胚芽)	米とぎ
1合	2分00秒	1分20秒	55秒	1分00秒	2分50秒
2合	2分50秒	1分30秒	1分05秒	1分20秒	4分00秒
3合	3分30秒	2分10秒	1分25秒	1分40秒	5分10秒
4合	4分20秒	2分30秒	1分35秒	2分00秒	6分20秒
5合	5分40秒	3分20秒	1分55秒	2分30秒	7分30秒

1 コースと米の量を選ぶ

1 「精米スイッチ」を押し、
コースを選びます。

玄米から
精米



2 「米の量スイッチ」を押し、計量した
米の量を選びます。

米の量



※必ず計量した米の量を選んでください。
精米不足・精米しすぎ・故障の原因に
なります。

2 「スタート/停止スイッチ」を押す

▪ 精米ランプと米の量ランプが点滅し、運転がスタートします。

▪ 米ロートが奥まで入っていない、または扉が開いているときは安全センサーが検知し、「スタート/停止スイッチ」を押しても運転しません。（ピーピーピとエラー音になり、精米ランプが全て点滅します。）

米ロートを奥まで入れ、扉を確実に閉めてください。

▪ 精米中に扉を開けると安全センサーが検知し、精米が停止します。扉を閉めると残り時間運転します。

スタート
停止

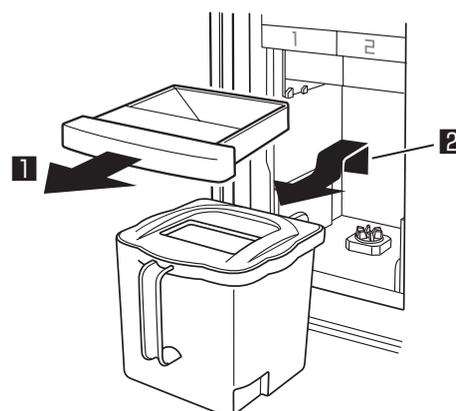


※スタート後、設定を変更したいときは、「スタート/停止スイッチ」を押して運転を停止し、再度設定しなおしてください。

3 運転終了、扉を開け米ロート、ぬか容器を取り出す

- 運転が終わるとブザーになり自動停止します。
- 精米終了後はできるだけ早くぬか容器を取り出してください。
ぬか容器を取り出すまで1分おきに5分間ブザーがなります。

▪ 連続使用は10分までです。



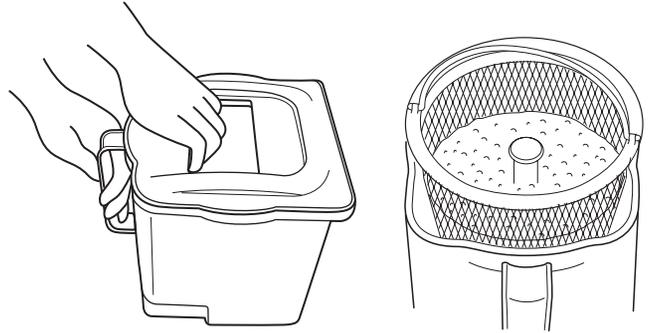
4 扉を確実にロックする

お願い

◦ 扉は「カチッ」となるまで押してください。

5 精米フタを開け、精米したお米を取りだす

- 精米はねを取りはずして、精米したお米を別の容器に移します。
- 精米はねを取りはずさないで、精米はねと一緒に抜け落ちて変形したり、別の容器に傷をつけてしまいます。



追加精米するとき

- 1 お米の状態を確認します。
- 2 精米が足りないときは、精米フタをし、ぬか容器・米ロートをもう一度取りつけ、扉を確実に閉めます。
- 3 選んだコースのまま「スタート/停止スイッチ」を押し運転を再開します。
- 4 30秒～1分精米したら「スタート/停止スイッチ」を押しして運転を停止させ、お米の状態を確認します。
※米の量や精米具合によって追加精米する時間は変わってきますのでお好みで調整してください。

6 ぬか容器から、ぬかを別の容器に移す

- ぬかは静かに取りだしてください。底の穴からぬかが落ちることがあります。
- ぬかは1回精米するごとに必ず取り除いてください。

お願い

- ぬか容器・精米バスケット・精米はね・精米フタは1回精米するごとに必ずお手入れしてください。
詳しくはP.21のお手入れのしかたをご覧ください。

炊飯について

精米後のお米は、コースによって仕上がりのお米の量が異なります。

必ず炊飯器に付属の計量カップなどではかりなおしてから炊飯してください。

また、お使いになる炊飯器の取扱説明書もよくお読みください。

コース名	洗米
白米	お米が冷めてから手早く洗う
7分づき	
5分づき	
3分づき(胚芽)	胚芽が落ちないように軽く洗う
米とぎ	洗米しない

水を入れたときのごりと水加減について

- 米とぎコースで米とぎしたお米に水を入れたとき、白くにごるのはでんぷん流出によるもので食味に影響はありません。
- にごりをなくすことはできません。
- にごりが気になる場合は一度水を流してください。また、水は静かに入れてください。
- 水加減はいつも通りの水量にしてください。ご飯がべたつくようでしたら、水量を少なめにしてください。

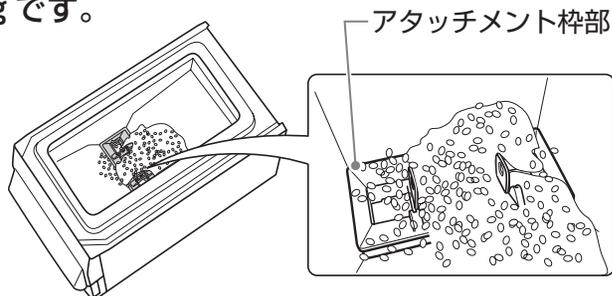
ご使用方法<玄米の補給について>

玄米の補給手順

残量確認窓から玄米が見えなくなったら、残量は約 2kg、フタを開け庫内アタッチメント枠部が見えたら約 1kg です。

お願い

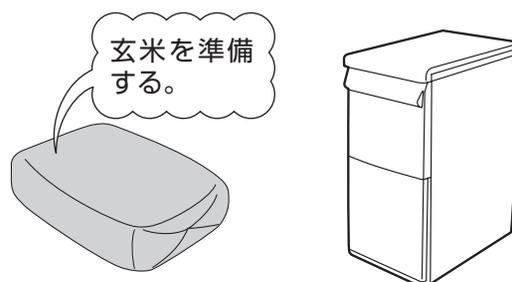
- 補給のときはできるだけ古い玄米を出し切り、米びつ内をお手入れしてから補給してください。長期間玄米が入っていた米びつ内には、ぬかや細かいゴミが残っているときがあります。お手入れのしかたは P.19 をご覧ください。



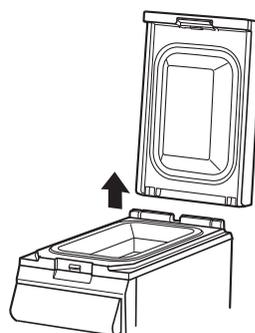
① 補給する玄米を準備します。

お願い

- 粳すり直後の玄米や日光にあたって温まった玄米は、必ず室温になじませてから入れてください。
- 湿った玄米や乾燥不足の玄米は入れないでください。



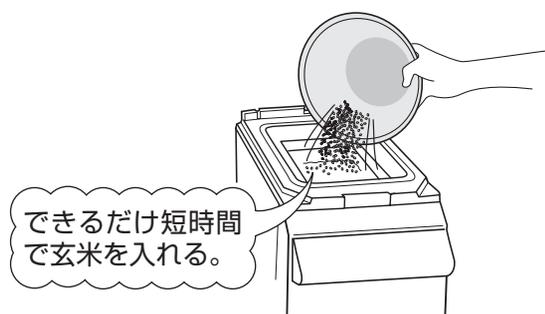
② フタを取りはずし、米びつ内部を乾いた布で拭きます。



③ できるだけ短時間で玄米を入れます。

お願い

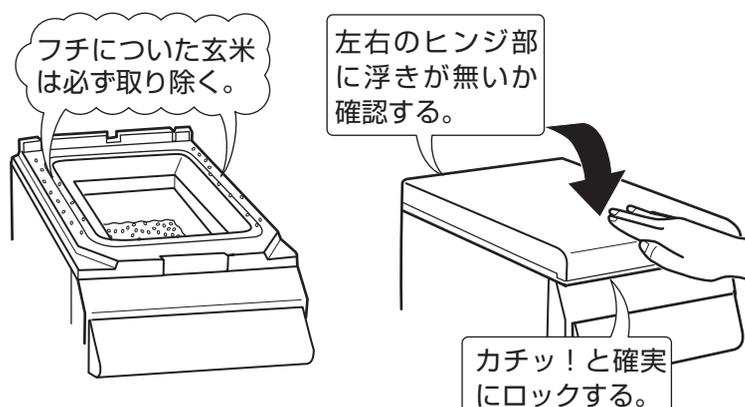
- フタを開けている時間はできるだけ短くしてください。長時間フタを開けていると、米びつ内部の結露による玄米のカビ発生や性能低下の原因になります。※万が一、結露した場合はしっかりと拭き取ってからフタを閉めてください。



④ 補給後はフタを確実に取りつけ、しっかりロックします。

お願い

- 玄米投入口のまわりや、フタパッキンについた玄米はきれいに除去してからフタを閉めてください。玄米がついたままフタを閉めると密閉されず、米びつ内部の結露による玄米のカビ発生や性能低下の原因になります。



お手入れのしかた

⚠ 注意



電源プラグを抜く

- お手入れするときは、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。

⚠ 警告



水ぬれ禁止

- 製品に直接水をかけない。
感電・ショート・漏電・サビ・故障の原因になります。

ご注意

- 製品内部をお手入れする場合は、手袋をしてください。
内部の突起に手が触れてケガの原因になることがあります。

お手入れをする前に

- 米びつ内、計量部のお手入れは、玄米の補給の前など米びつ内に玄米がないときにおこなってください。
- 製品を移動するときは、製品の前側を少し持ち上げ、キャスターを利用し、手前に引き出してください。詳しくは P.21 の **移動・運搬するとき** をご覧ください。
- 製品を横にしたり逆さまにしたりしないでください。

お願い

- 洗剤は台所用中性洗剤（食器用・調理器具用）をお使いください。シンナー・ベンジン・クレンザー・漂白剤・たわし・化学ぞうきんなどは表面を傷つけますので使用しないでください。

本体・フタ・扉のお手入れ

- 汚れたら洗剤をうすめた水またはぬるま湯にやわらかい布をひたし、よくしぼってから拭き取ってください。

⚠ 注意



禁止

- フタを丸洗いしない。
フタ内部に入り込んだ水が庫内をぬらす原因になることがあります。

お願い

- 扉パッキンやフタパッキンは引っぱったり、強く拭いたり、変形させないでください。
冷気がもれ、米びつ内部の結露・性能低下の原因になることがあります。

吸気口のフィルター・排熱口の掃除

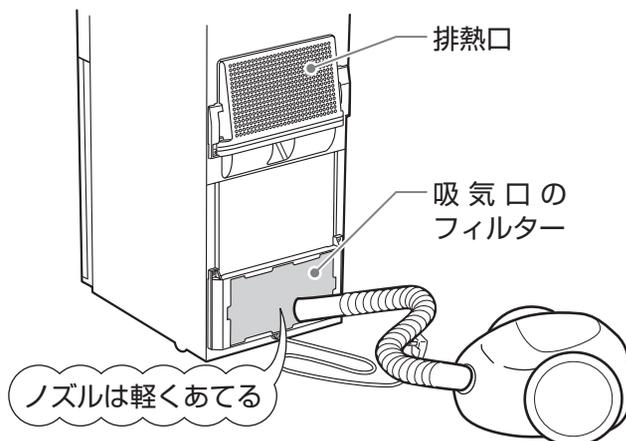
電源ランプがゆっくり点滅したときは次の手順で吸気口のフィルターと排熱口を掃除してください。（P.9 をご覧ください）

- ①電源プラグを抜き、製品を手前に引き出します。
P.21 の **移動・運搬するとき** をご覧ください。
- ②製品背面の吸気口のフィルターと排熱口のほこりを掃除機で吸い取ります。

ご注意

- フィルターをはずしたまま運転をしないでください。
ほこりや虫が内部に入り、故障の原因になることがあります。

- ③製品を元の場所にもどし、電源プラグをコンセントに差し込みます。



お手入れのしかた

米びつ内部のお手入れ

◦ お米を補給する前は必ず、米びつの内部を掃除してください。

- ① 計量引き出しを引き、玄米をすべて出し切ります。
- ② 乾いた布で米びつ内部のぬかなどを拭き取ります。

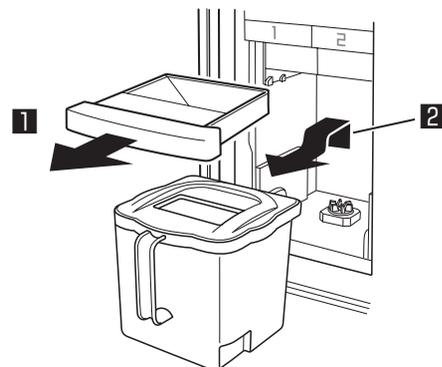
計量部のお手入れ

◦ 計量部は下記の手順で取りはずして水洗いができます。

<取りはずしかた>

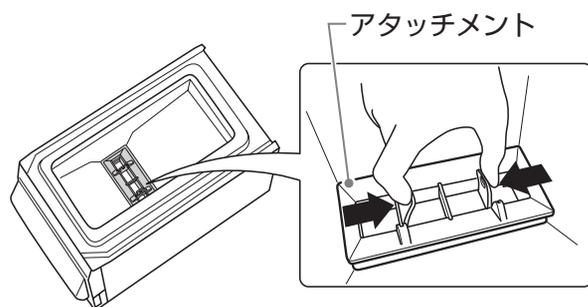
① 玄米を全部出します。

フタを取りはずし、玄米が残っていないか確認します。残っているときは、計量引き出しを使用し、玄米をすべて出し切り、米ロート、ぬか容器を取りはずしてください。



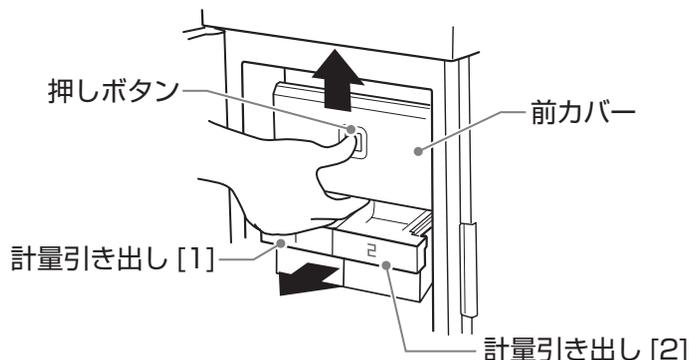
② アタッチメントを取りはずします。

米びつの内部底面に装着されているアタッチメントを取りはずします。アタッチメントの穴に指をかけて、両側同時に内側に倒しながら上に引き上げてください。



③ 前カバーを取りはずします。

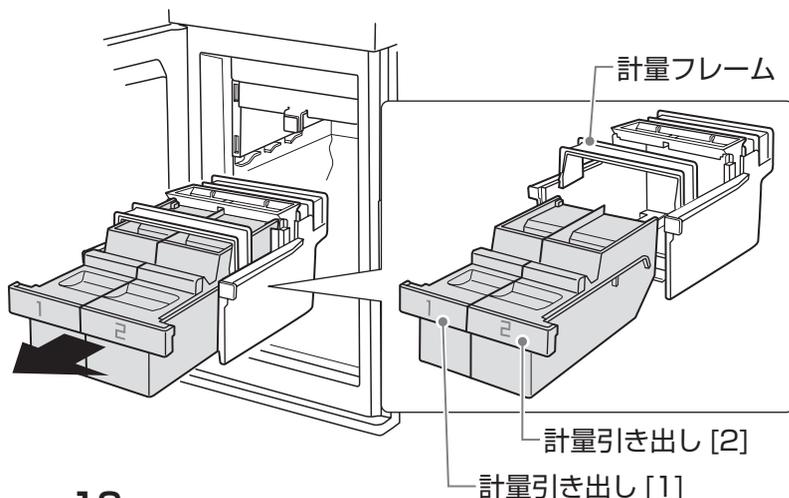
計量引き出しを引き出した状態で、押しボタンを押しながら前カバーを上にはき上げ、取りはずします。



④ 計量引き出しと計量フレームを引き出します。

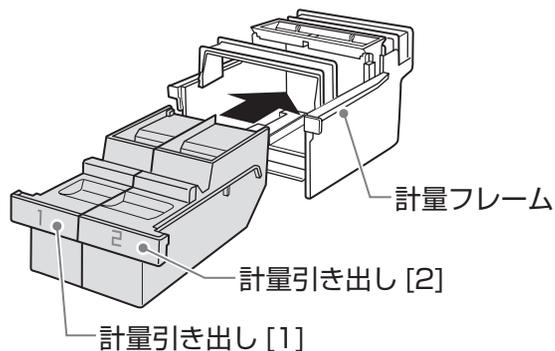
ご注意

- 取りはずした部品を水洗いしたあとは、完全に乾かしてから取りつけてください。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機は使わないでください。
- 70℃以上の熱湯で洗わないでください。

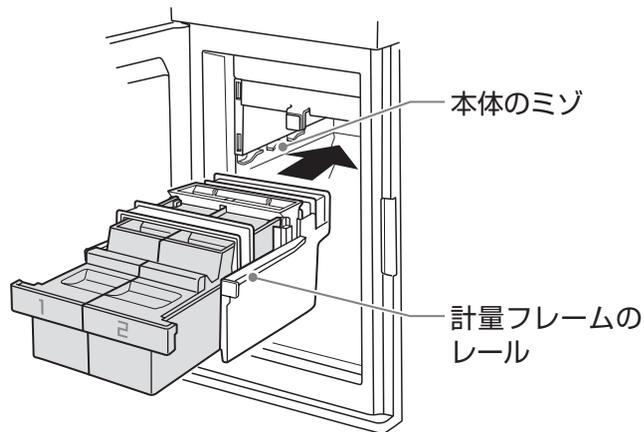


<取りつけかた>

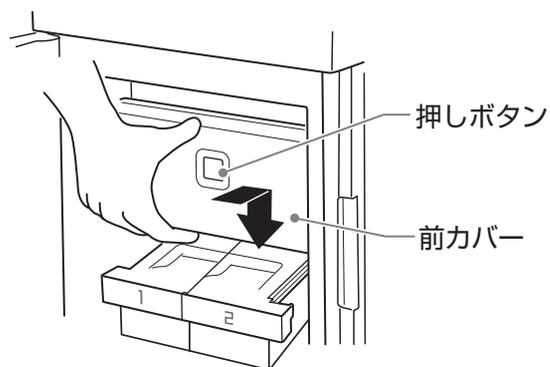
- ① 計量引き出し [1] と計量引き出し [2] を組み合わせてから、計量フレームに差し込みます。



- ② ①で組み合わせたものを取りつけます。
計量フレームのレールを本体のミゾに合わせて押し込みます。



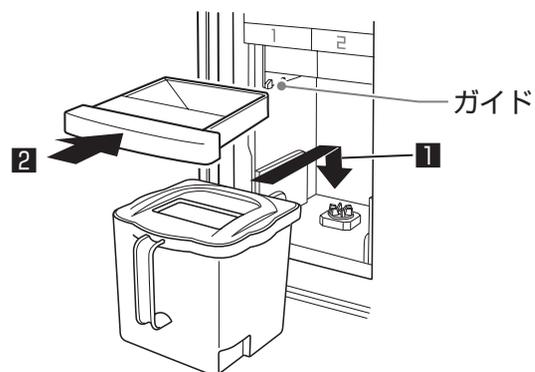
- ③ 前カバーを取りつけます。
前カバーのツメと本体の角穴を合わせて前カバーを取りつけます。押しボタンが前カバーの穴にきちんとはまっていることを確認してください。



- ④ むか容器、米ロートを入れます。
計量精米部の底部に落ちている米粒は取り除いてください。

ご注意

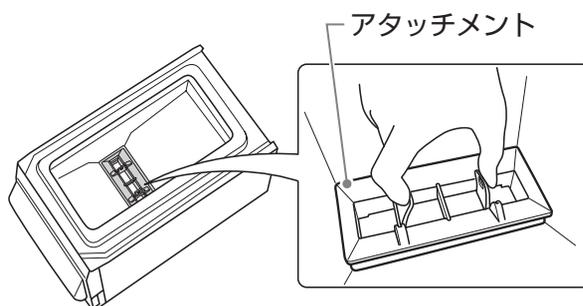
- 米ロートはガイドにまっすぐ入れてください。



- ⑤ 米びつ内部底面にアタッチメントを取りつけます。

ご注意

- アタッチメントを必ず取りつけてください。忘れると米もれの原因になります。



お手入れのしかた

精米部のお手入れ（ぬか容器・精米バスケット・精米はね・精米フタ）

※1回使うごとに必ずおこなってください

- 洗剤とやわらかいスポンジでかるく洗い、よく乾かしてください。
完全に乾いた状態で使用しないとぬか切れが悪くなり、精米不足や米とぎ不足の原因になります。
- 精米バスケットは水の中につけないでください。
精米バスケットの回転軸部が故障する原因になります。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器に入れて洗浄、乾燥をしないでください。
変形する原因になります。

こんなときは

停電のとき

- フタ・扉はできるだけ開けず、そのままお待ちください。停電が回復すれば自動的に運転を開始します。

長期間使用しないとき

- ①電源プラグを抜いてください。
- ②玄米をすべて出し切り、内部を掃除して2～3日フタと扉を開けてよく乾かしてください。

移動・運搬するとき

⚠ 注意



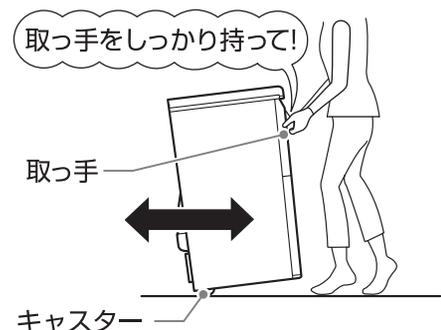
禁止

- フタ・扉の部分を持って持ち上げたり、フタを開けたまま移動させない。
手をはさむなど、けがや故障の原因になることがあります。

- 移動させるときは、振動を与えたり、大きく傾けたりしない。
冷却運転により発生した水が、製品内部の水受けからこぼれて、故障や床をぬらす原因になることがあります。

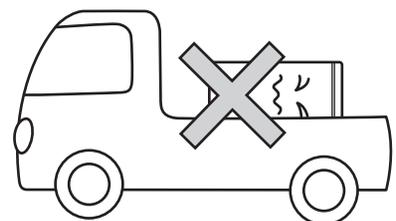
<前後に移動させるとき>

- 取っ手をしっかり持って、製品の前側を少し持ち上げ、キャスターを利用し、静かに動かします。
- 移動するときは床に米粒やごみが落ちていないか確認してから、手前に引き出してください。



<運搬するとき>

- 横積みしたり、強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、故障の原因になります。
- 玄米を入れたまま運搬しないでください。
玄米が計量部に詰まったり、故障の原因になります。



修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったときは次の点をお確かめください。

- 点検してもなお不具合があるときは、お買い上げの販売店にご相談・点検をご依頼ください。
- ご自分ででの分解や修理は危険ですから絶対にしないでください。

次のことは故障ではありません

冷却運転が停止する 冷却運転音に変化する	○周囲の温度が低いとき(約15℃以下)は、電源プラグをコンセントに差し込み、電源ランプが点灯していても冷却運転しないことがあります。また、運転が断続したり、運転音に変化したりしますが、これは米びつ内の温度を制御しているためで故障ではありません。
米びつの内部や扉の内側に露がつく	○次のようなときは露がつきます。露の量が多いときは、乾いたタオルなどで拭き取ってください。 (1) 周囲の湿度が高い場所に設置したとき。 (2) 温かい玄米を入れたとき。 (3) 周囲の湿度が高いときに、フタや扉の開閉をしたとき。 (4) 玄米投入口やフタパッキンに玄米がついていて、フタが完全に閉っていないとき。 (5) 扉が完全に閉っていないとき。 (6) フタパッキンや扉パッキンが傷んでいるとき。 (部品交換はお買い上げの販売店にご相談ください。)
本体の外側や、パッキンの周囲に露がつく	○周囲の湿度が高いときにまれに起こります。製品の冷気により生じるもので異常ではありません。乾いたタオルなどで拭き取ってください。
本体の背面が熱くなる	○排熱をしているためです。玄米の貯蔵に影響ありません。

こんなとき

お調べいただくこと

処置していただくこと

保冷・計量について

玄米が冷えない	電源ランプが消えている	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源プラグが抜けていませんか？ ■ ブレーカーが「OFF」になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ■ ブレーカーを「ON」にしてください。
	電源ランプが点灯している	<ul style="list-style-type: none"> ■ 玄米を入れた直後ではありませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ そのまま運転を続けてください。
	電源ランプがゆっくり点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ■ フタや扉は確実に閉っていますか？ ■ 玄米投入口やフタパッキンに玄米などがついていませんか？ ■ 直射日光を受けたり、ストーブ、レンジ、冷蔵庫の近くではありませんか？ ■ 背面の吸気口や排熱口がふさがれていますか？ ■ 製品の周囲にスキマがありますか？ ■ 扉をひんばんに開閉していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロックして確実に閉めてください。 ■ 玄米などをきれいに取り除いてください。 ■ 設置場所を変更してください。(P.7 をご覧ください。) ■ ふさいでいるものを取り除いてください。 ■ 周囲にスキマをあけてください。(P.7 をご覧ください。) ■ 開閉は少なく、短くしてください。
計量引き出しが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 玄米以外の異物が入っていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 玄米を全部取り出して、異物を取り除いてください。 	
計量部周辺に玄米がこぼれる	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計量部の部品はすべて正しく取り付けられていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 玄米を全部取り出して、計量部の部品を正しく装着してください。(P.20 をご覧ください。) 	

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは次の点をお確かめください。

こんなとき

お調べいただくこと

処置していただくこと

精米・米とぎについて

どのスイッチを押しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けていませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
スタートスイッチを押しても精米がスタートしない (精米ランプが全部点滅している)	<ul style="list-style-type: none"> 米ロートを確実に取りつけましたか? 扉を確実に閉めましたか? 	<ul style="list-style-type: none"> 米ロートを入れ、扉を確実に閉めてください。(安全センサーが検知し、精米がスタートできません。) (P.15 をご覧ください。)
精米中に止まった (設定した精米ランプ・米の量ランプが点滅している)	<ul style="list-style-type: none"> 精米中に扉を開けませんでしたか? 	<ul style="list-style-type: none"> 扉を閉めてください。扉を閉めると残り時間の精米をします。 (P.15 をご覧ください。)
表示ランプ全てが消灯している	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けていませんか? 停電していませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 電源が回復するまで待ってください。(ブレーカーをONにする。)
電源ランプ以外消灯している	<ul style="list-style-type: none"> 最後に操作してから10分以上経過していませんか? (省エネのため消灯します。) 	<ul style="list-style-type: none"> 「精米スイッチ」「米の量スイッチ」「スタート/停止スイッチ」のいずれかを押しと点灯します。(P.6 精米ランプと米の量ランプについてをご覧ください。)
米の量ランプが全部点滅している	<ul style="list-style-type: none"> 石や異物が入っていませんか? 高温の場所で使用していませんか? 連続10分を超えて使用していませんか? (モーター保護装置が作動して自動停止したためです。) 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜き、石や異物を取り除いてください。 高温の場所を避けてお使いください。 電源プラグを抜かないで、1時間以上休ませる。 (途中で止まったときは) お好みの精米度まで追加精米をおこなってください。 (P.16 追加精米をするときをご覧ください。)
モーターが回っているのに精米・米とぎができない	<ul style="list-style-type: none"> 精米はねをつけ忘れていませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> 精米バスケットの中の玄米を取りだし、精米はねを正しく取りつけてください。

精米・米ときについて

<p>精米にムラがあったり、玄米が白くならない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 設定した量より多い玄米を入れていませんか？ ▪ 精米コース・米の量設定を間違えていませんか？ ▪ むか容器にむかがたまっていますか？ ▪ むれた精米はね・精米バスケットを使っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ コースと米の量を確認し、お好みの精米度まで追加精米をおこなってください。(P.16追加精米をするときをご覧ください。) ▪ 次回精米するときは、計量した量と同じ米の量を選んでください。 ▪ スタート前に設定したコースの精米ランプと米の量ランプが点灯しているか確認してください。 ▪ 1回運転するごとに必ずむかを取りだしてください。 ▪ 良く乾燥させてください。
<p>精米しすぎる米が割れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 乾燥しすぎている玄米を使っていますか？ ▪ 計量した量より多い米の量を選んでいませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 次回精米するときは、米の量設定を1合下げて精米してください。 ▪ 次回精米するときは、計量した量と同じ米の量を選んでください。
<p>炊いたご飯がベタついている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 計量した量より多い米の量を選んでいませんか？ ▪ 米の温度が高いうちに水を入れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 次回精米するときは、計量した量と同じ米の量を選んでください。 ▪ 米が冷めてから水を入れてください。

胚芽精米について

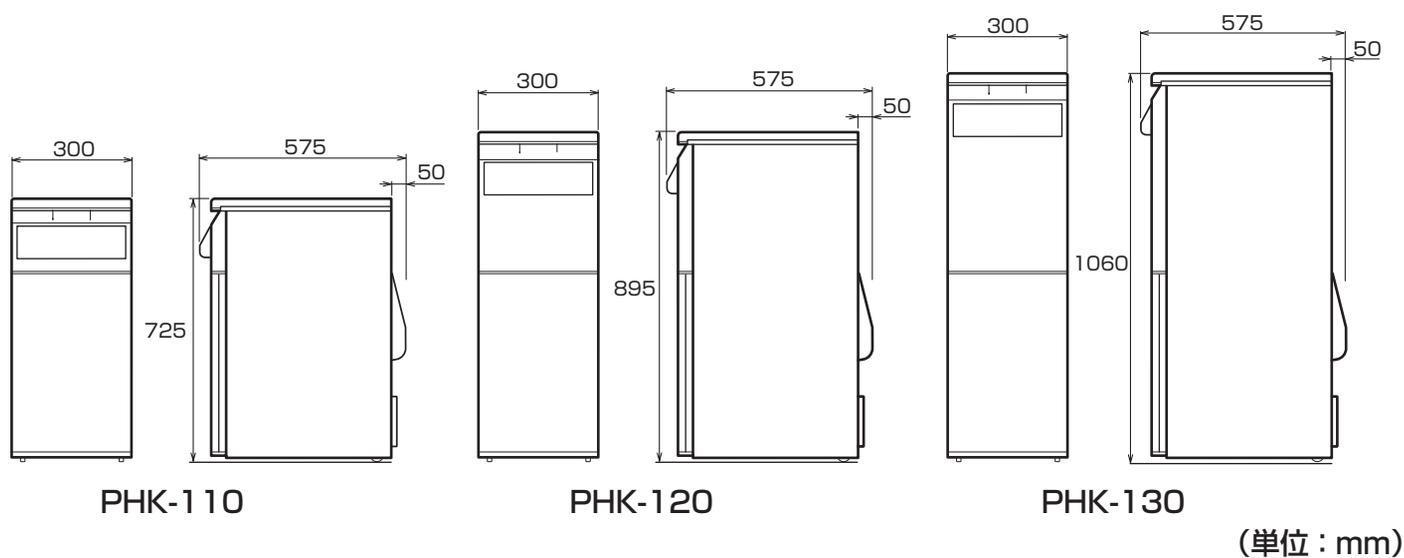
<p>3分づき(胚芽)コースで精米しても胚芽があまりついていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 乾燥しすぎている玄米を使っていますか？ ▪ 計量した量より多い米の量を選んでいませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 次回精米するときは、米の量設定を1合下げて精米してください。 ▪ 次回精米するときは、計量した量と同じ米の量を選んでください。 <p>※玄米により胚芽の残る量は異なります。(P.11をご覧ください。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[参考] お米の品種・産地・水分量・保存状態の違いにより胚芽の残る量は異なります。</p> </div>
--------------------------------------	---	---

※処置していただいた後も米の量ランプが全部点滅しているとき、電源ランプがはやく点滅しているときは、お買い上げの販売店または裏表紙の問い合わせ先に点検・修理をご相談ください。

仕様

型式	PHK-110	PHK-120	PHK-130
玄米の実収納量	約 10kg	約 20kg	約 30kg
製品質量	約 18kg	約 20kg	約 22kg
計量装置	スライド計量方式 0.2L(玄米 約 165g) 0.4L(玄米 約 330g)		
電源	AC100V 50/60Hz		
定格消費電力	精米：320W 冷却：75W		
収納部の冷却方式	冷気強制循環方式(ペルチェ素子による電子冷却)		
電源コードの長さ	約 1.5m		
保冷温度	約 15℃(室温 30℃)		
安全装置	安全センサー(米ロートを取りつけ、扉を閉めないで精米しない)・電流ヒューズ		
使用環境	室内(温度 0～30℃、相対湿度 30～80% RH)		
精米能力	最大量	5合(玄米 約 825g)	
	運転時間	5合 白米コース：約 5分40秒	
	コース	米とぎ・白米・7分づき・5分づき・3分づき(胚芽)	
	定格時間	10分	

外形寸法



アフターサービスについて

修理サービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品は、製造打切り後最低 6 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理致します。

消耗品について

- フィルター・精米バスケット・精米はねは消耗部品になります。
部品の摩擦により、精米不足・米とぎ不足になったり、ぬかの中に白米が混じるようになったら「精米バスケット」と「精米はね」の交換をおすすめします（有料）。通常使用（米の量「5 合」・精米コース「白米」で毎日 1 回精米したとき）の場合、2～3 年が目安です。お買い上げの販売店または裏表紙のお問い合わせ先にご注文ください。

廃棄について

- この製品は「米びつ」です。家電リサイクル法が適用される「冷蔵庫」には該当しません。廃棄についてはお住まいの各自治体の決まりにしたがってください。

保証書

持込修理

製品名	保冷精米機	型式	PHK-110 PHK-120 PHK-130
保証期間	本体 1 年間（消耗部品を除く）	※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	〒 TEL ご住所 お名前 様	※販売店	〒 TEL 住所 店名 印

本書の※印欄に記入のない場合は無効となりますので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出になるか、またはお買い上げ年月日・販売店名を証明する領収書などを添付してください。本書にご記入いただいたお客様の個人情報は、商品の修理対応のために使用し、それ以外に使用したり第三者に提供することは一切ございません。

本書は、本書記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。

1. 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内（お買い上げ日から 1 年間）に故障した場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。
2. ご転居・その他などで、本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、下記の連絡先にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他の天災地変など外部に原因がある故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用、店舗での使用、車両や船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合または本書に記入がなくお買い上げ年月日・販売店名などを証明する領収書がない場合。
 - (ト) 消耗部品（フィルター・精米バスケット・精米はね）が損傷し、取り替えを要する場合。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

5. 本書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

★この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは P.26 「アフターサービスについて」をご覧ください。なおご不明の場合はお買い上げの販売店、または当社（〒 387-8603 長野県千曲市雨宮 1825 TEL 026-272-4111(代)）にお問い合わせください。

修理メモ

こんな症状は
ありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- 製品にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

こんな
ときは

このような症状のときはコンセントから電源プラグを抜き、販売店に点検をご相談ください。



エムケー精工株式会社

〒387-8603 長野県千曲市雨宮1825
TEL 026-272-4111(代)
FAX 026-274-7089(代)

[支店]

札幌支店	〒004-0841	札幌市清田区清田一条1-9-21	TEL 011-881-7311
仙台支店	〒983-0023	仙台市宮城野区福田町4-14-22	TEL 022-258-3861
東京支店	〒125-0062	東京都葛飾区青戸8-3-5MK東京ビル3F	TEL 03-3604-6441
静岡支店	〒422-8035	静岡市駿河区宮竹1-13-5	TEL 054-238-0111
新潟支店	〒950-0923	新潟市中央区姥ヶ山2-18-15	TEL 025-287-0911
長野支店	〒387-0007	長野県千曲市大字屋代4299-1	TEL 026-272-8701
名古屋支店	〒453-0855	名古屋市中村区烏森町6-109	TEL 052-461-7261
金沢支店	〒920-0025	金沢市駅西本町2-8-8	TEL 076-264-1115
大阪支店	〒564-0043	大阪府吹田市南吹田3-6-4	TEL 06-6386-5800
四国支店	〒761-8062	高松市室新町3-5 B棟102	TEL 087-868-6781
広島支店	〒731-0138	広島市安佐南区祇園3-23-27	TEL 082-871-7355
福岡支店	〒812-0061	福岡市東区筥松1-2-31	TEL 092-612-1077